

1 学校教育目標 よりよく生きる ～夢 笑顔 学ぶ瞳～

本校は、昨年150周年を迎えた。明治、大正、昭和、平成、そして令和と、いくつもの時代を超え、様々な社会情勢の変化の中で継続・発展してきた歴史を振り返ると、その重みがひしひしと伝わってくる。

春、草花が芽吹く季節に、泥だらけになって田植えを行い、様々の農作物を植える。伝統の「舞い」を教えていただき、披露する夏。やがて、一緒に収穫を祝い、感謝を伝える。このように、本校は協力的な地域に支えられている。人的、物的資源と学校との連携により、より充実した教育実践が展開されている。まさに「教育のまち飯田川」を体現できる、ありがたい環境がある。

こうした強みを生かし、「よりよく生きる」ために、夢に向かい、笑顔が溢れ、真摯に学ぼうとする子どもたちを育てていきたい。

2 めざす姿

◎【めざす子ども】

- 夢～夢に向かって努力する子ども
- 笑顔～思いやりの心を持ち、明るい挨拶ができる子ども
- 学ぶ瞳～自分の考えを持ち、伝え合うことができる子ども

◎【めざす教職員】

- 全ての子どもに愛情をもって接する教職員
- 組織の一員としての自覚を持ち、共に学び合う教職員
- 協力し合い、信頼される教職員

◎【めざす学校】

- 気持ちよい挨拶があふれる学校
- 子どもの「心の居場所」がある学校
- 地域とつながっている学校

3 経営の重点

1 夢 ～夢に向かって努力する子どもの育成～

○目標をもち、たくましい心と体を育てる教育活動の充実

- ・自己決定の場、自己存在感・自己有用感を感じられる場の設定
- ・目的意識をもった異学年交流や特別活動の充実

○自分の命を自分で守る力を育てる、安全教育の推進

- ・健康や安全、防災等、情報を正しく判断し、主体的に行動する態度の育成

○キャリア教育の視点を重視したふるさと教育の推進

- ・地域の環境や人材を活用・連携した教育活動の充実及び、伝統文化の継承
- ・体験活動の推進…農園活動や総合的な学習の時間の活動の工夫

2 笑顔 ～思いやりの心をもち、明るい挨拶ができる子どもの育成～

○生徒指導の充実…全ての子どもの心の居場所がある学校・学級づくり

- ・挨拶や感謝の言葉、励ましの言葉が行き交う学校・学級づくり
- ・子どもに寄り添ったきめ細かな指導・支援
- ・発達段階に沿った規範意識の醸成
- ・組織で考え対応する指導

○思いやりの心を育む道徳教育

- ・教育活動全体を通して、多様な価値観を受容し他者を受け入れ、認めながら関わり合う態度の育成と規範意識を高める指導
- ・読書指導の充実（読み聞かせ、読書指導）

○特別支援教育の充実

- ・一人一人の教育的ニーズに応じた個を生かす指導・支援
- ・全職員による支援体制と家庭や外部関係機関との連携

3 学ぶ瞳 ～自分の考えをもち、伝え合うことができる子どもの育成～

○自ら学ぶ子どもを育む授業改善

- ・対話的な学びを通して、考えを深める授業改善
- ・子どもの実態に合わせた指導の工夫（ICT等の活用）

○基礎・基本の確実な定着を図る指導の工夫

- ・「学習のきまり」「聞き方・話し方」など基本的な学習習慣を形成する共通実践
- ・できる・分かる喜びを大切にする授業と「はげみ学習」の継続

4 進化し続ける学校・教師

○地域に開かれた学校、信頼される学校づくり

- ・地域ボランティア組織との計画的な連携の推進
- ・学校運営協議会や地域コーディネーターを活用した協働体制の構築及びHP等での情報発信

○家庭・地域・関係機関等との連携

- ・幼保・小・中の連続した学びの推進や放課後児童クラブ、児童館との連携
- ・地域や八郎湖に学ぶ環境教育
- ・地域人材を活用したクラブ活動
- ・地域コーディネーターの活用

○指導力を高める研修の充実

- ・協働とOJTに支えられたチームでの研修
- ・校内授業研究会の充実と各種調査を生かした授業改善
- ・ICT教育に係る研修の推進